

## 平成 28 年度 大阪アクティブシニア協会 理事長コメント集

2016 年

4 月

- ◆OASA 三役会(平成 27 年度最終回) 八木新事務局長を迎えての会合となり、6 期通常総会に向けての検討会が中心になった。組織も一部見直し、人事面での検討が課題となった。新たな陣容で、更なる発展をめざしていきたい。

5 月

- ◆大阪アアクティブシニア協会 第 6 回通常総会 正会員 18 団体、理事、賛助会員総数 30 名の参加で平成 27 年度活動報告ならびに平成 28 年度活動方針が承認された。来賓に大阪府 菱谷課長、大阪市教育会館 平澤理事長および高大 三田副理事長をお迎えし開催できましたことに改めてお礼申し上げる。平成 28 年度は 5 年目となる。大阪 200 万人 (65 歳以上) のシニアの皆さんが、自ら行動するアクティブシニアとして地域に密着した社会参加活動を展開していきたいと考えている。

6 月

- ◆大阪アクティブシニア協会の三役会 (第 1 回)が開催された。新しい顔ぶれに、これからの運営に期待感が持たれる。アクティブシニアがあふれる大阪事業が、大阪府の方針が平成 29 年度で終了となる。その受け皿として、新たな高齢者計画を構築していきたい。

7 月

- ◆OASA 第 2 回理事会を開催し、「一般社団法人 心学明誠舎」の正会員入会を承認した。19 団体となる。アクティブシニアフェスタ 2017 の開催日 2017 年 3 月 9 日(木) を内定、開催地は選考中である。アクティブシニアがあふれる大阪事業は、大阪府の委託事業として 9 月目途に提案する。大阪出前サポートバンク事業は、順調に活動を展開してい
- ◆大阪滋慶学園の日本の伝承玩具教室は 2 回実施し中国の留学生に好評を得た。また、小学校いきいき教室は 7 回実施され活動の柱となっている。スタッフの皆さんのボランティア活動に感謝申し上げます。

8 月

- ◆OASA 三役会(8 月 25 日)でアクティブシニアがあふれる大阪事業の提案書が承認された。高齢者の生活課題 Part II テーマ「健康と地域生活」を 4 項目の事業テーマに分けて推進することになる。元気なシニアの生活支援の担い手を養成する人材育成を考えていきたいと思っています。
- ◆アクティブシニアフェスタ 2017 (2017 年 3 月 9 日(木) 開催予定)の第 2 回実行委員会を

開催。イベントの趣旨を確認した。

- ①健康な仲間を増やし、笑顔溢れる交流の場を作る。
- ②元気なシニアボランティアが芸能や地域での活動を披露する場の提供とする。
- ③高齢者が活動を通じて、健康づくりと福祉の向上を府民の方々に広く、楽しくアピールする場としていきたい。

## 9月

◆OASA 第3回理事会 9月29日に開催。

- ①アクティブシニアがあふれる大阪事業は、大阪府下6地域に分けて、健康と地域生活の楽しさや魅力を講義形式及び実践形式によりアクティブシニア養成講座を実施することを確認した。
- ②アクティブシニアフェスタ2017は、2017年3月9日(木) 10:00~15:00 大阪市北区民センターで開催することを決定した。
- ③正会員 NPO 法人大阪府民カレッジが入会し、20団体となった。

## 10月

◆ OASA 三役会(10月27日)開催。

- ①アクティブシニアフェスタ2017 実行委員会の推進、展示出店団体の絞り込み、演芸コーナーの企画、広報について目途をつけた。
- ②アクティブシニアがあふれる大阪事業の推進、実施地区のテーマ選定と実施計画。
- ③5年先を見据えた OASA 戦略(ビジョン)アクションの検討を推進する。
- ④子ども基金運用規定(案)、交通費規定(案)を次回の理事会で承認を得る。

◆おおさか環境ネットワークに参加して。

国連は、SOGs(Sustainable Development Goals)を発表した。すなわち人類の生きる持続可能な開発目標を定めた。

国連加盟国の諸目標17項目(アジェンダ)を達成すべく力を尽くすことになる。アジアでは、日本では、関西では何を指すべきかを議論を深めていくことになる。